

日本共産党を代表して、発議第4号東京オリンピック・パラリンピック大会の中止を求める意見書について、賛成の立場で討論します。

政府や東京都などは、夏の東京五輪について観客を入れて開催することを決定しました。感染症の専門家が、無観客開催が望ましい、と提言していたにもかかわらず、菅政権をはじめ開催者側はあくまで「観客あり」に固執しています。この時期に東京五輪を開催すること自体、極めて高い感染拡大リスクとなります。開催の場合でもリスクを最も軽減できる手段として専門家が提案した無観客まで拒んだ政府や都などの姿勢は重大です。菅首相は、「五輪の開催権限はIOCにある」、「安全・安心の大会が実現できるように全力を尽くすことが私の責務だ」と同じ言葉を繰り返すばかりで国民の不安や批判に応えようとしていません。首相は、国民の命と健康を危険にさらしてまで、五輪をしなければならぬ理由を国民に説明していません。命より五輪の姿勢を改め、五輪中止を決断しコロナ対策に集中すべきです。

以上の理由から、発議第4号東京オリンピック・パラリンピック大会の中止を求める意見書に賛成といたします。